



のぼりん 通信

2013年
11月
第7号



すっかり日が短くなりました。何かをやってみたいけれど、何をしてもいいか解らない方は、
のぼりんのホームページ・登録団体一覧をご覧ください。
文化・芸術・スポーツ・ボランティアなどたくさんの団体が活動しています。

震災から学んだこと - 講演会 -

NPO法人コミュニティーサポート神戸の中村順子さんは、阪神淡路大震災を経験し、復興の街づくりに取り組んできました。

その貴重な体験を登別の街づくりに生かすため、講演会を開催します。

街づくりに関心のある方は、是非参加してください。

記

- 1 日時：平成25年11月19日（火）
午後3時～午後5時
- 2 場所：市民活動センター（のぼりん）
- 3 テーマ：「住民主体の街づくり～震災から学んだこと」
- 4 基調講演：
中村順子さん（兵庫県立大学院教員）
- 5 ワールド・カフェ：「20年後の登別」
(1) おにスポ
(2) いぶりたすけ愛
(3) モモンガくらぶ
- 6 参加費： 無料
- 7 主催： おにスポ
- 8 共催： のぼりべつNPOネット
- 9 お問い合わせ：
市民活動センター（のぼりん）
(TEL 0143-83-6866)



まちづくり講演会・セミナー開催!!

登別市では、「自治を回復し、まち・むらの力で解決するために～協働の基礎を再確認する～」と題し、次のとおり、まちづくりセミナーを開催します。

講師の川北さんは、まちづくりの分野で広く活躍している方ですので、是非、ご参加ください。

記

- 1 日時： 平成25年12月1日（日）
14:30～17:30
- 2 会場： 市民活動センター・のぼりん
- 3 講師： 川北秀人さん
(人と組織と地球のための国際研究所代表)
- 4 内容： 人口データなどを基に、協働で期待される成果や本来の意義など、全国の事例紹介と合わせて、講義します。
- 5 参加費： 無料
- 6 参加申込み： 事前申込が必要です。
11月11日（月）までに、登別市総務部
企画調整グループへ
(TEL 0143-85-1122)

登別市市民活動センター のぼりん

〒059-0024 登別市緑町1丁目1番地4
電話・FAX 0143-83-6866
メール katusennoborin@bz03.plala.or.jp

◆◆◆ 開館時間 ◆◆◆

月～金曜日 9:00～22:00
土・日曜日 9:00～18:00
休館日(祝日・12月31日～1月5日)

ホームページ <http://noborin.bz-office.net/> のぼりん検索



11月 登録団体 行事予定表

日付	曜日	内 容	主催・問い合わせ
1	金	布に親しむ会 (9:00~17:00)	布に親しむ会 尾野さん ☎85-0277
		フェイスブックの勉強 (13:00~17:00)	サークルメロウネット 渡邊さん ☎87-1864
5	火	講 座 (13:00~17:00)	パソコンボランティアプラザ登別 榎本さん ☎85-1476
		木彫り (13:00~17:00)	木彫りサークル コスモス会 宮武さん ☎85-4363
7	木	水彩画活動 (13:00~17:00)	登別水彩クラブ 辻さん ☎85-6615
8	金	布に親しむ会 (9:00~17:00)	布に親しむ会 尾野さん ☎85-0277
11	月	書 道 (9:00~12:00)	書道同好会 楽伸会 中里さん ☎85-5176
		着付講習会 (18:00~21:00)	着付サークル 恵 山田さん ☎090-7519-8707
12	火	陶 芸 (9:00~13:00)	ハンズワーク「土塊の会」 成澤さん ☎090-9521-5522
14	木	絵手紙教室 (9:30~11:45)	絵手紙サークル 絵綺 古川さん ☎87-1675
		水彩画活動 (13:00~17:00)	登別水彩クラブ 辻さん ☎85-6615
15	水	読書会 (9:00~12:00)	楽しい源氏物語 今川さん ☎84-2663
16	土	江差追分道場 (14:00~16:00)	のぼりん文化講座 市民活動センター「のぼりん」 ☎83-6866
18	月	和紙の教室 (9:00~17:00)	和紙の会 山田さん ☎86-4254
		着付講習会 (18:00~21:00)	着付サークル 恵 山田さん ☎090-7519-8707
19	火	大正琴無料体験教室 (10:00~11:30)	のぼりん文化講座 市民活動センター「のぼりん」 ☎83-6866
21	木	水彩画活動 (13:00~17:00)	登別水彩クラブ 辻さん ☎85-6615
22	金	ヨ ガ (9:00~12:00)	ヨガサークル らんの会 廣瀬さん ☎86-4257
		木彫り (13:00~17:00)	木彫りサークル コスモス会 宮武さん ☎85-4363
24	日	子ども将棋教室 (10:00~12:00)	のぼりん文化講座 市民活動センター「のぼりん」 ☎83-6866

日付	曜日	内 容	主催・問い合わせ
25	月	絵手紙教室 (9:30~11:45)	絵手紙サークル 絵綺 古川さん ☎87-1675
		着付講習会 (18:00~21:00)	着付サークル 恵 山田さん ☎090-7519-8707
30	土	囲碁教室 (10:00~12:00)	のぼりん文化講座 市民活動センター「のぼりん」 ☎83-6866

コーザン秋のおさんぽ!!

鉱山は、今が最高の季節です。

秋のお散歩を楽しみながら、おち葉スタンプで、
オリジナルノートを作ってみませんか!?



記

- 1 日 時： 平成25年11月10日(日) 10:00~12:30
- 2 場 所： ふおれすと鉱山 遊歩道
- 3 実施内容： 秋のお散歩を楽しみながら、鉱山の秋を閉じこめたオリジナルノートを作ります。
- 4 参加対象： 未就学園児とその保護者
- 5 参加料： 400円/1組 (1人増えるごとにプラス200円)
- 6 定 員： 10組(先着順)
- 7 持ち物： 動きやすい(汚れてもいい)服装、飲み物、昼食(おにぎり程度)、雨具、タオルなど
- 8 申込期日： 平成25年11月8日(金)
- 9 お問い合わせ： ネイチャーセンターふおれすと鉱山 (TEL 0143-85-2569)

11月 のぼりん文化講座

日 時	講 座 名	内 容	定員・対象・参加料	申込期限・持ち物
11月16日(土) 14時~16時	江差追分道場	江差追分の歌い方を学びます。 講師：石橋 滄栄さん ほか(登別民謡連合会)	20人(申込順)	11月13日(水) ・筆記用具 ・講座の録音可
11月19日(火) 10時~ 11時30分	大 正 琴 無料体験教室	やさしい曲を中心に練習します。 講師：岡田陽子さん 高橋照代さん (大正琴愛好会)	5人(申込順) ・大人対象	11月15日(金) ・筆記用具
11月24日(日) 10時~12時	子ども将棋教室	日本古来のゲームを楽しみましょう。 講師：佐藤和義さん ほか(登別将棋同好会)	10人(申込順) ・小学生 (保護者同伴)	11月21日(木)
11月30日(土) 10時~12時	囲 碁 教 室	対局指導をします。 講師：加藤 清さん 保沢 宏さん (登別棋道連盟)	20人(申込順) ・小学生以上 ・初心者歓迎	11月27日(水)

※申込先： のぼりん 電話 83-6866

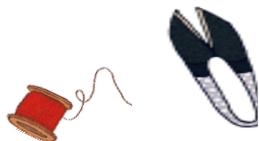
《展示情報》

「会員作品展示会」

11月6日(水)～12日(火)

布で作る小物、作品、他

主催：布ごっこ



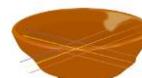
「陶芸教室（文化講座）」

参加者作品展示会

11月19日(火)～24日(日)

陶芸作品

主催：登別美術協会



特集!! 知里幸恵 — 銀のしずく記念館 —

知里幸恵さんは、わずか19年という短い生涯でしたが、その著書「アイヌ神謡集」は、アイヌ文化の復活に大きな貢献をしています。

今月号の特集では、その幸恵さんの足跡を遺している「銀のしずく記念館」の館長、横山むつみさんにお話しをお聞きしました。



Q1： 最初に、1997年に開催された「知里幸恵の世界展」についてお聞かせください。

A1： はじめは、幸恵さんの業績を少しでも多くの方に知ってもらいたいとの気持ちで、当時の登別サティにおいて、3日間、開催しました。

講演会には、北大教授の小野有五さん、知里真志保の奥さん萩中美枝さん、地元の富樫利一さんに講師としてお越しいただき、また、アイヌの楽器「トンコリ」の演奏もありました。

3日間の展示会には、全国各地から800人の来場者があり、多いに感激しました。

Q2： 記念館建設までは？

A2： 世界展の成功により、「常設の展示場があれば・・・」との思いが強くなりました。

その後、記念館建設のための募金活動が始まり、代表には、文学者である池澤夏樹さん、世話人には、小野有五さんになっていただきました。

その間、北海道文学館の学芸員である青柳文吉さんの尽力により、「自由の天地を求めて—知里幸恵アイヌ神謡集への道」と題した特別展を、北海道文学館が主催し、開催していただきました。

その後、多くの方に応援、激励されながら、募金活動が継続され、2010年、念願の知里幸恵「銀のしずく記念館」が開館しました。

Q3： この地を選んだ理由は？

A3： ここは、幸恵の生地です。 記念館は、この場所以外、考えられません。

周辺の住民の皆さんには、ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、ご理解・ご協力いただき、本当に感謝しています。

Q4： 記念館の展示物については？

A4： 幸恵は、6歳まで登別で過ごし、その後、13年間旭川の伯母、金成マツの所に在住、その後、上京。そして、わずか4か月で亡くなりました。19歳の時です。

記念館には、それらの年譜や直筆の手紙などを展示しています。

皆様には、気軽にお越しいただきたいと思います。

(11月11日・18日午前9時30分、FMびゅ～「来て見て!?のぼりん」放送予定)